

消費税インボイス制度の実施延期を求める陳情

【陳情の趣旨】

消費税のインボイス制度の実施を延期するよう求める意見書を政府に提出すること

【陳情の理由】

インボイス制度の登録件数は 2023 年 3 月末で 268 万件となっています。売上が 1000 万円以上の課税事業者は 315 万者ですから、課税事業者数にも満たない登録数となっています。インボイスへの対応が求められる対象は小規模事業者のほか、フリーランスも加わります。ランサーズの調査ではフリーランスが 1577 万人となり、そのうち事業者との取引がある割合は内閣官房日本経済再生総合事務局の調べで 54.1%となっています。フリーランスだけで 853 万人となることが予想され、インボイス発行対象事業者は 1100 万人を超えることが予想されます。登録件数は対象の 4 分の 1 に留まっています。

商工会議所の調査では「インボイス制度の導入に向けた課題」として 47.2%が「そもそも制度が複雑でよくわからない」と回答しており、理解の遅れが登録の遅れになっています。

理解が進まない状況の中で実施されれば、混乱するのは目に見えています。混乱を生まないために延長することを求めます。

以上のことから、葉山町議会が政府に対し地方自治法 99 条の規定により、消費税のインボイス制度の実施を延期するよう、意見書を提出することを陳情します。

2023 年 5 月 29 日

葉山町議会議長 伊東 圭介 殿

住 所 神奈川県横須賀市根岸町 4-34-9
団体名 横須賀民主商工医
氏 名 会長 富塚昇

